



第176回糖尿病教育学習研究会（トップセミナー）
第215回IIDES糖尿病研究会
第150回CDE兵庫県連合会研究会
—合同研究会のご案内—



日時：2024年1月27日（土） 14:00～17:15
場所：神戸商工貿易センター 26階 第1会議室
神戸市中央区浜辺通 5-1-14 TEL:078-251-5489

プログラム：

14:00～14:15 ニプロ株式会社 一情報提供—

14:15～15:45（座長：佐藤 芳子 医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 内科
NPO法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事）

（14:15～14:45）

糖尿病療養指導士 基礎講座8.

『シックデイと特殊な状況における糖尿病治療について』

神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科 特定助教 病棟医長 芳野 啓 先生

（14:45～15:45）

講演1. 『糖尿病患者のライフイベントにおける問題について
～自身の体験より～』

神戸大学医学部附属病院 国際がん医療・研究センター 看護師長 大江 裕子 先生

15:45～17:15（座長：芳野 原 医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 常任学術顧問 糖尿病センター長、
東邦大学名誉教授、NPO 法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事長）

講演2. 『災害時の糖尿病診療 ～COVID-19 パンデミックを振り返って～』

北播磨総合医療センター 糖尿病・内分泌内科部長 兼 臨床研修センター長

兼 診療科長兼糖尿病センター長 原 賢太 先生

注) ① 会場とオンライン同時配信により、ハイブリッド講演会になります。

② 会場参加定員：先着43名（キャンセルがでた際には、外れた方順に参加可能のお知らせをいたします。）

③ 会場参加者は必ずマスク着用をお願いします。また、発熱がある方は入場をお断りしますので、体温を測定してからお越しください。

(1) 参加費：2000円

(2) 申込方法：事務局へご氏名、ご所属、職種、ご連絡先、オンライン参加か会場参加か（オンラインの場合、必要な単位申請先）を明記の上、E-mail（パソコンからの発信可能アドレスをお知らせください）、またはFAXにてお願いいたします。

注) CDEJ更新のための認定単位が必要な方はWeb講習は対象外です。また、日病薬薬学認定制度の認定単位が必要な方は、本オンラインでは単位対応できません。会場参加でお願いいたします。

(3) 連絡事務局：特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所（NPO-IIDES）

〒651-1112 神戸市北区鈴蘭台東町 7-10-16

TEL:078-591-7515 FAX:078-591-7512

E-mail:yoshino@npo-ides.or.jp

※ 日医生涯教育講座認定 講演1：CC11・05単位、講演2：CC5・1単位、講演3：CC76・15単位 申請中

※ 日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会〈第2群〉1単位（オンライン参加不可）申請中

※ 日病薬薬学認定制度 V-2・2単位（オンライン参加不可）申請中

※ 糖尿病療養指導士兵庫県連合会 認定更新のための研修会 2単位

共催：特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所
糖尿病療養指導士兵庫県連合会
一般社団法人 兵庫県病院薬剤師会
ニプロ株式会社

オンライン参加の方へ

1. オンライン参加をお申込みされた方へは、参加費振込先を申込メールアドレスにお送りいたします。
(オンライン参加費振込締切日は1月26日まで。振入手数料は各自でご負担願います。入金された参加費については、返金対応いたしませんのでご了承ください。)
2. 入金確認後、事前登録URLを申込メールアドレスにお送りいたします。
3. 当日オンライントラブル連絡先：ニプロ株式会社 窓口 永尾 (TEL:080-8920-9321)
※ご連絡頂く「個人情報」は本会運営の目的のみに使用させていただきます。

【認定単位の必要な方へ】(単位取得までの流れ)

■ 受講確認のため、受講中に3回キーワードを発表します。必ずメモしてください。

キーワードが全部合致しない場合は、受講したものと認めませんのでご注意ください。

1. 糖尿病療養指導士兵庫県連合会認定に関して

受講後、当日中に3回のキーワード、ご氏名、認定番号、送付先住所を事務局メールアドレスにお送りください。
キーワードが合致した方のみ、参加証(単位申請用)を送付いたします。

2. 日医生涯教育講座認定に関して

受講後、当日中に3回のキーワード、ご氏名、所属医師会、医籍番号、送付先住所を事務局メールアドレスにお送りください。キーワードが合致した方のみ、受講記録表を送付いたします。

一抄録一

糖尿病療養指導士基礎講座8 『シックデイと特殊な状況における糖尿病治療について』

芳野 啓 先生 神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科 特定助教、病棟医長

糖尿病の方が、感染症などによる発熱、下痢、嘔吐や食欲不振のために食事が摂れない状態をシックデイと呼び、そのような状況下では、高血糖・ケトアシドーシスなどを回避するために適切な水分・糖分・エネルギー摂取とインスリン・血糖降下薬の調整などの特別な対応が必要となる。また、検査などによる絶食時、災害時ならびに旅行時など特殊な状況においても各々の対応が必要となる。本講演では、シックデイと特殊な状況における対応について説明する。

講演1. 『糖尿病患者のライフイベントにおける問題について～自身の体験より～』

大江 裕子 先生 神戸大学医学部附属病院 国際がん医療・研究センター 看護師長

糖尿病治療は常に進歩し続け、特に1型糖尿病の治療環境はここ数年で目まぐるしく変化しています。持続血糖モニター(CGM)や持続皮下インスリンポンプ注入療法(CSI)、リアルタイムCGM機能付きインスリンポンプ(SAP)療法などの普及やインスリン製剤の改良により、良好な血糖管理ができ、健常者と変わらない生活を送ることが可能となってきています。しかしながら、糖尿病があることによりライフイベントごとに様々な問題や障壁にぶつかり、そのたびに悩んだり落ち込んだりすることもあります。糖尿病患者の抱える問題について、自身の体験を踏まえてお伝えしたいと思います。

講演2. 『災害時の糖尿病診療 ～COVID-19パンデミックを振り返って～』

原 賢太 先生 北播磨総合医療センター 糖尿病・内分泌内科部長 兼 臨床研修センター長
兼 診療科長兼糖尿病センター長

2020年3月、WHOが新型コロナウイルス感染症(COVID-19)をパンデミックであると宣言してから、早4年近くが経ちました。この間、新型コロナパンデミックは大規模災害と例えられ、災害弱者である糖尿病を持つ患者さんは様々な不安やストレスに襲われ続けてきました。同時に医療従事者に対しても多くの課題を提示しました。2023年5月には新型コロナウイルス感染は2類感染症から5類感染症へと変更され、少し喉元を過ぎた感もありますが、コロナパンデミックが糖尿病診療に及ぼした影響に関する様々な情報が蓄積されています。COVID-19パンデミック下での糖尿病診療を、災害時の糖尿病診療として捉え、急性期病院の立場からCOVID-19と糖尿病診療に関わるこれまでの知見を含めて考えさせて頂きたいと思えます。

◇会場案内図(神戸商工貿易センター)

■三ノ宮駅(JR)三宮駅(阪急・阪神・市営地下鉄山手線)

下車徒歩10分

■三宮花時計前駅(市営地下鉄海岸線)下車徒歩5分

■三宮駅(ポートライナー)貿易センター駅下車すぐ

